

予言

疲れきった自負心
粉碎された幸福

夜の帳^{とばり}が沈んでゆく
ああ、涼しい大気

神話の時間^{とき}
記憶が飛び去ってゆく

柄にもないことを
人間達は夢見ている

踊るがいい
地上の全てを手にするため

そして知るがいい
全ゆる無為が消滅したことを

(1999.6.2)